

記入例

推薦市町村名

〇〇市

推薦部門
(総合 美術 音楽 演劇 **文学** 舞踊 メディア芸術 生活文化 文化財の保護 郷土史誌)※社会貢献への功績が顕著であるものについては部門「社会貢献
につながる文化活動」で顕彰する場合があります。

↑該当のものを1つ丸で囲んでください。

功 績 調 書				
(ふりがな) 氏 名	(ふくしま たろう) 福島 太郎	男 女	生年月日 (満年齢)	昭和45年09月01日 (55歳)
本 籍	福島県福島市春日町5-54			
現 住 所	福島県福島市山下町1-25 電話番号 (024) 534-9191			
団体名・役職名	〇〇〇〇〇文化連盟 会長			
職 業	〇〇〇〇〇			
最 終 学 歴	〇〇〇〇〇			
年 月 日	文化活動に関する主な略歴			在籍/従事年数
自 昭和〇年〇月〇日 至 現在	〇〇〇〇〇文化会入会 略歴は功績に関係のあるものを入してください。			〇年〇ヵ月
自 昭和〇年〇月〇日 至 昭和〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇文化会支部長			年 ヵ月
自 昭和〇年〇月〇日 至 平成〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇文化連盟 評議員			年 ヵ月
自 平成〇年〇月〇日 至 平成〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇文化連盟 副会長			年 ヵ月
自 平成〇年〇月〇日 至 現在	〇〇〇〇〇文化連盟 会長			年 ヵ月
自 至				年 ヵ月
功 績 要 旨	<本県文化の向上に貢献した優れた業績>文化振興へ影響を与えたか/継続性や持続可能性があるか/受賞歴や表彰実績はあるか ※要旨を具体的かつ詳細に記入。編著書がある場合はその著書名、展覧会や発表会等の入選・入賞がある場合はその名称を記入すること。			
	・2015年より地域の言葉や風習を題材にした短編小説を数多く執筆し、地元文化の魅力を全国に発信してきた。 ・特に2018年に刊行された『〇〇〇〇〇』は、戦後の福島の暮らしを丁寧に描いた作品として高く評価され、〇〇賞を受賞。 ・2020年からは県内の高校と連携し、若者向けの創作講座「〇〇〇〇〇」を主宰。年間を通じて執筆指導を行い、多くの高校生が全国文学コンクールで入賞を果たしている。 ・被災地の記憶を風化させないため、浪江町やいわき市での聞き書き活動にも取り組み、2023年にはその成果をまとめたエッセイ集『〇〇〇〇〇』を出版。地域に根ざした文学活動を通じて、福島の文化継承と発信に大きく貢献している。			
賞 罰	<本県文化の普及に貢献した優れた指導性>リーダーシップを発揮したか/後継の育成や普及啓発に尽力したか ※要旨を具体的かつ詳細に記入。編著書がある場合はその著書名、展覧会や発表会等の入選・入賞がある場合はその名称を記入すること。			
	地域文学の担い手育成と文化普及に尽力し、優れた指導性を発揮してきた。 ・2016年より〇〇〇〇〇主催の「〇〇〇〇〇」で講師を務め、県内外から集まる受講生に向けて地域文化を題材とした創作指導を継続。 ・2019年からは高校生向け文芸セミナーを自主企画し、若者が地元の歴史や言葉を作品に反映できるよう指導体制を整備した。受講生の中には、全国高等学校〇〇コンクールで入賞する者も多く、その成果は県内の文化活動全体にも波及している。 ・2022年には、市町村の公民館と連携し、出張型の文芸ワークショップを展開。地域に根ざした実践を通じて、福島の文学的土壌の広がりや次世代の文化担い手育成に貢献している。			
賞 罰	<社会貢献につながった文化活動>社会的な課題解決への貢献度が高いか ※要旨を具体的かつ詳細に記入。編著書がある場合はその著書名、展覧会や発表会等の入選・入賞がある場合はその名称を記入すること。			
	文学を通じた被災地支援と心のケアに取り組み、福島県における文化活動の社会的役割を切り拓いてきた。福島における文化活動の新たなモデルとして広がりを見せている。 ・東日本大震災後の2012年より、仮設住宅での「〇〇〇〇〇の会」を開始し、物語の力で被災者の心に寄り添う活動を継続。 ・2016年からは「〇〇〇〇〇プロジェクト」を立ち上げ、小中学生が自らの体験や思いを綴った作文や詩を冊子にまとめ、地域や避難先の学校に配布している。 ・2021年に『〇〇〇〇〇』を自費出版し、県内外の図書館や医療機関に寄贈。			
		平成■年第〇回〇〇〇〇〇文化コンクール金賞、平成■年〇〇市文化団体協議会栄誉賞 詳細が分かる資料がある場合は、写しを添付してください。 国並びに県の顕彰等の受賞歴：なし		